



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月5日

上場会社名 株式会社ツムラ 上場取引所 東
コード番号 4540 URL <https://www.tsumura.co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 加藤 照和
問合せ先責任者(役職名) コーポレート・コミュニケーション室長 (氏名) 北村 誠 (TEL) 03-6361-7100
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	43,690	18.0	10,575	125.7	14,118	135.7	11,180	158.1
2024年3月期第1四半期	37,036	7.6	4,684	△26.3	5,989	△30.9	4,332	△34.7

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 16,122百万円(90.1%) 2024年3月期第1四半期 8,482百万円(△36.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	147.25	—
2024年3月期第1四半期	56.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	445,163	307,552	63.3
2024年3月期	428,254	295,364	63.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 281,874百万円 2024年3月期 270,802百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	35.00	—	50.00	85.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	68.00	—	68.00	136.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	89,700	19.1	19,300	89.0	19,300	52.3	14,200	57.7	187.02
通期	185,000	22.6	39,500	97.3	39,500	68.1	28,500	70.6	375.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料の10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	76,758,362株	2024年3月期	76,758,362株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	829,971株	2024年3月期	829,871株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	75,928,416株	2024年3月期1Q	76,171,530株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託を導入しております。これに伴い、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(第1四半期連結累計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、以下のとおりとなりました。

[連結業績]

(単位：百万円)

	2023年 第1四半期	2024年 第1四半期	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	37,036	43,690	+6,654 (+18.0%)
国内事業	32,988	40,134	+7,145 (+21.7%)
中国事業	4,047	3,556	△491 (△12.1%)
売上原価	20,341	20,858	+516 (+2.5%)
販売費及び一般管理費	12,009	12,257	+248 (+2.1%)
営業利益	4,684	10,575	+5,890 (+125.7%)
国内事業	4,684	10,713	+6,028 (+128.7%)
中国事業	0	△138	△138 (-)
経常利益	5,989	14,118	+8,128 (+135.7%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,332	11,180	+6,847 (+158.1%)

売上高は、前年同期と比べ18.0%増加し、43,690百万円となりました。

国内事業の売上高は、前年同期と比べ21.7%増加し、40,134百万円となりました。医療用漢方製剤129処方の売上高は、前年同期と比べ21.9%増加し、38,820百万円となりました。大建中湯、抑肝散、牛車腎気丸の売上高は、不採算品再算定の適用を受けた影響もあり、大きく伸長しました。五苓散の売上高は、限定出荷の解除に加え、頭痛・めまいなどのニーズに沿った情報提供活動により伸長しました。一方、六君子湯、半夏瀉心湯、補中益気湯、加味逍遙散、加味帰脾湯、人參養榮湯の売上高については、薬価改定にともない3月に発生した需要の反動により、前年同期と比べ減少しました。

[育薬・Growing処方の売上高]

(単位：百万円)

	売上 順位	製品No. / 処方名	2023年 第1四半期	2024年 第1四半期	前年同期比	
育薬処方 ※1	1	100 大建中湯 ※3	2,515	3,877	+1,362	+54.2%
	2	54 抑肝散 ※3	1,940	3,040	+1,100	+56.7%
	5	43 六君子湯	1,861	1,757	△104	△5.6%
	7	107 牛車腎気丸 ※3	995	1,467	+472	+47.5%
	25	14 半夏瀉心湯	370	358	△12	△3.3%
育薬処方合計			7,683	10,502	+2,819	+36.7%
Growing処方 ※2	3	17 五苓散	1,801	2,090	+288	+16.0%
	4	41 補中益気湯	1,931	1,800	△131	△6.8%
	9	24 加味逍遙散	1,305	1,199	△105	△8.1%
	19	137 加味帰脾湯	590	539	△51	△8.7%
	20	108 人參養榮湯	561	527	△33	△6.0%
Growing処方合計			6,191	6,157	△33	△0.5%
育薬・Growing処方以外の119処方合計 ※3			17,964	22,161	+4,197	+23.4%
医療用漢方製剤129処方合計			31,838	38,820	+6,982	+21.9%

また、国内事業の一般用漢方製剤等の売上高は、取り扱い店舗数が拡大したことにより、前年同期と比べ17.8%増加し、985百万円となりました。

中国事業の売上高は、原料生薬と飲片(刻み生薬)の販売を中心とする生薬プラットフォーム(平安津村薬業有限公司、深セン津村薬業有限公司等)において、主力である原料生薬の販売が、一部取引先の一時的な買い控えの影響等により減少した結果、前年同期と比べ12.1%減少の3,556百万円となりました。

売上原価は、売上高の伸長と原料生薬調達コストの上昇等により前年同期と比べ2.5%増加し、20,858百万円となりました。売上原価率は、原料生薬調達コストの上昇等はあったものの、不採算品再算定の適用を受けたことにより、前年同期と比べ、7.2ポイント低下し、47.7%となりました。

販売費及び一般管理費は、前年同期と比べ2.1%増加し、12,257百万円となりました。主に統合基幹システムの稼働にともなう減価償却費の増加および円安の影響によるものです。販管費率は売上高の増加により、前年同期と比べ4.3ポイント低下し、28.1%となりました。

以上の結果、営業利益は、前年同期と比べ125.7%増加し、10,575百万円となり、営業利益率は、前年同期と比べ11.6ポイント上昇し、24.2%となりました。経常利益は、海外子会社への貸付金に係る為替差益を計上したこともあり、前年同期と比べ135.7%増加し、14,118百万円となりました。これらに加え、政策保有株式の売却にともなう特別利益を計上したこともあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期と比べ158.1%増加し、11,180百万円となりました。

※1 育薬処方：

近年の疾病構造を見据え、医療ニーズの高い領域において新薬治療で難渋している疾患で、医療用漢方製剤が特異的に効果を発揮する疾患に的を絞り、エビデンス(科学的根拠)を確立する処方

※2 Growing処方：

育薬処方に続く戦略処方として、治療満足度や薬剤貢献度の低い領域でのエビデンス構築(安全性・有効性データ等)により診療ガイドライン収載を目指す処方

※3 不採算品再算定の適用を受けた処方66品目(育薬3処方+その他63処方、改定率：+36.2%~+50.7%)

[限定出荷の状況について]

医療用漢方製剤129処方では、コロナウイルス感染症やインフルエンザの流行および鎮咳薬の供給不安により漢方製剤へ想定以上の需要が発生したことから、一部処方を限定出荷しておりました。増産体制の確保、生産計画の調整により限定出荷の解除を進め、2024年8月5日時点における限定出荷品目は、1処方となります。早期解除に向けた対応に尽力していきます。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は445,163百万円で、前連結会計年度末に比べて16,909百万円の増加となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ16,102百万円の増加となりました。固定資産は、有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末に比べて807百万円の増加となりました。

負債合計は137,611百万円で、前連結会計年度末に比べて4,721百万円の増加となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べて5,161百万円の増加となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べて439百万円の減少となりました。

純資産合計は307,552百万円で、前連結会計年度末に比べて12,188百万円の増加となりました。株主資本は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べて7,353百万円の増加となりました。その他の包括利益累計額は、為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べて3,718百万円の増加となりました。また、非支配株主持分は、前連結会計年度末に比べて1,115百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は0.1ポイント増加して、63.3%となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、72,530百万円となり、前連結会計年度末と比べて5,503百万円減少しました。当第1四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況と、前年同期に対するキャッシュ・フ

ローの増減は、次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,377百万円の支出となりました。主な内訳は、収入項目では税金等調整前四半期純利益15,820百万円、支出項目では売上債権の増加額8,665百万円、棚卸資産の増加額5,979百万円であります。前年同期との比較では、1,225百万円支出が増加しております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、567百万円の支出となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出2,834百万円、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入3,441百万円であります。前年同期との比較では、4,339百万円支出が減少しております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,782百万円の支出となりました。主な内訳は、配当金の支払額による支出3,754百万円であります。前年同期との比較では、2,203百万円支出が増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月9日に公表しました2025年3月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	78,075	72,607
受取手形及び売掛金	67,149	76,452
商品及び製品	12,139	13,522
仕掛品	18,309	19,944
原材料及び貯蔵品	87,168	93,444
その他	18,761	21,774
貸倒引当金	△311	△351
流動資産合計	281,292	297,395
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	95,434	98,211
その他	121,118	122,948
減価償却累計額	△112,493	△115,515
有形固定資産合計	104,058	105,644
無形固定資産		
のれん	8,350	8,591
その他	8,902	8,879
無形固定資産合計	17,253	17,470
投資その他の資産		
投資有価証券	15,241	13,466
退職給付に係る資産	3,626	3,745
その他	6,781	7,441
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	25,650	24,653
固定資産合計	146,961	147,768
資産合計	428,254	445,163
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,828	21,989
短期借入金	10,313	25,313
1年内償還予定の社債	15,000	—
未払法人税等	2,979	5,178
その他	20,435	21,238
流動負債合計	68,557	73,718
固定負債		
社債	45,000	45,000
長期借入金	9,377	9,377
退職給付に係る負債	49	48
従業員株式給付引当金	414	523
役員株式給付引当金	220	248
その他	9,270	8,695
固定負債合計	64,332	63,892
負債合計	132,889	137,611

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,142	30,142
資本剰余金	13,739	13,739
利益剰余金	205,804	213,158
自己株式	△2,378	△2,379
株主資本合計	247,307	254,660
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,910	5,292
繰延ヘッジ損益	1,328	2,844
土地再評価差額金	2,673	2,673
為替換算調整勘定	13,870	16,680
退職給付に係る調整累計額	△287	△277
その他の包括利益累計額合計	23,494	27,213
非支配株主持分	24,562	25,678
純資産合計	295,364	307,552
負債純資産合計	428,254	445,163

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	37,036	43,690
売上原価	20,341	20,858
売上総利益	16,694	22,832
販売費及び一般管理費	12,009	12,257
営業利益	4,684	10,575
営業外収益		
受取利息	247	158
受取配当金	141	167
為替差益	929	3,228
その他	85	120
営業外収益合計	1,404	3,675
営業外費用		
支払利息	96	112
その他	2	19
営業外費用合計	99	132
経常利益	5,989	14,118
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	1,729
特別利益合計	0	1,729
特別損失		
固定資産除却損	8	27
特別損失合計	8	27
税金等調整前四半期純利益	5,980	15,820
法人税等	1,637	4,424
四半期純利益	4,343	11,396
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	215
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,332	11,180

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	4,343	11,396
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,527	△617
繰延ヘッジ損益	580	1,516
為替換算調整勘定	2,021	3,817
退職給付に係る調整額	8	9
その他の包括利益合計	4,139	4,726
四半期包括利益	8,482	16,122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,026	14,898
非支配株主に係る四半期包括利益	455	1,223

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,980	15,820
減価償却費	2,454	2,671
のれん償却額	126	135
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	12	26
受取利息及び受取配当金	△389	△325
支払利息	96	112
有形固定資産除売却損益 (△は益)	8	27
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,270	△8,665
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,476	△5,979
仕入債務の増減額 (△は減少)	△144	1,395
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,729
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△98	△105
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△5	0
その他	2,069	△2,322
小計	2,364	1,060
利息及び配当金の受取額	411	323
利息の支払額	△25	△71
法人税等の支払額	△2,901	△2,689
営業活動によるキャッシュ・フロー	△152	△1,377
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△6	△6
有形固定資産の取得による支出	△3,623	△2,834
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△1,018	△217
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△1	△825
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	—	3,441
貸付金の回収による収入	0	0
その他	△257	△125
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,906	△567
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	15,000
社債の償還による支出	—	△15,000
自己株式の取得による支出	△1,315	△0
非支配株主からの払込みによる収入	2,158	—
配当金の支払額	△2,397	△3,754
その他	△24	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,579	△3,782
現金及び現金同等物に係る換算差額	825	223
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,812	△5,503
現金及び現金同等物の期首残高	94,730	78,034
現金及び現金同等物の四半期末残高	88,917	72,530

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

当社グループは医薬品事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

当社グループは医薬品事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。